

NGO サポート募金

「東アフリカ飢餓 緊急支援まとめて募金」 活動報告書

期間 2011年8月1日～2012年5月31日

あたたかいご支援ありがとうございました。

国際協力 NGO センター(JANIC)が、東アフリカで発生している飢餓に対して緊急支援活動を行う日本の NGO を支援するために開設した NGO サポート募金「東アフリカ飢餓 緊急支援まとめて募金」は、2011年8月1日～2012年5月31日の期間中、2,918,599 円ものあたたかいご支援をいただきました。

※JANIC に手数料として 20%いただいています ※複数回ご寄付くださった方は 1 組とカウント

NGO サポート募金とは



複数の NGO へ一度に寄付が出来る仕組みです。NGO サポート募金なら、個々の NGO のことはよくわからなくても、関心のある分野に簡単に寄付ができます。8つの分野に分けた「まとめて募金」では、JANIC を通して各分野で活動している NGO へ募金が均等に分配されます。

www.janic.org/bok

○ 信頼性

厳格な JANIC の正会員基準を満たした正会員 NGO、且つ、最新のアカウントビリティ・セルフチェックを取得した団体のみが参加できます。

○ NGO ならではの支援を応援できます

NGO が支援するのは、世界の公的な援助からも、現地政府の支援からも取り残されてしまった人々です。「自立支援」をキーワードに、現地の人々が自ら状況を変えていくためのサポートを行っています。

参加 7 団体一覧

皆様のご支援のおかげで、多くの国際協力 NGO が被災地の救援、復興活動を行うことができました。皆様よりいただきましたあたたかいお気持ち、ご支援に心より感謝いたします。

参加 NGO の活動の様子をご報告いたします。

特定非営利活動法人 ICA 文化事業協会	3
特定非営利活動法人 グッドネーバース・ジャパン（～2011 年 12 月）	3
特定非営利活動法人 メデュサン・デュ・モンド・ジャポン（世界の医療団）	4
特定非営利活動法人 難民を助ける会	4
特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（2011 年 10 月～）	5
公益財団法人 プラン・ジャパン（～2011 年 10 月）	5
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン（～2012 年 1 月）	6

1 団体名	特定非営利活動法人 ICA 文化事業協会
2 活動地域	ケニア共和国 マンデラ州、マルサビット州、ガリッサ州、カジアド州
3 支援対象者	飢餓で苦しむコミュニティー住民（特に女性、子供）
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● ICA は 2011 年 10 月よりケニア国マンデラ、ガリッサ、マガディ、マルサビットと干ばつで 苦しむコミュニティー住民に対する緊急食糧と水の配布の配布を実施してきました。 ● 2012 年はケニア北部のトゥルカナ湖南東部ロヤンガラニとサイスホールにおける水と食料支援です。 ● 水は山奥の水源から 1,578 本のパイプを設置し、湧水を水不足で苦しむ住民のコミュニティーへと繋ぎました。 ● 食糧支援は、幼稚園、小学校、中学校の生徒 4,433 名分（15 校）に対する食糧支援を実施しました。 ● 本来、学校では定期的な給食支援が実施される予定ですが、北部は距離的な問題もあり最後のプライオリティーとなっていたため、最終的には給食が届かない場所も多く、生徒達は一日一食のお粥で授業に出席し、帰宅後は薪拾い、水汲みの重労働を課せられていました。 ● ICA は今回、15 校に対し、7 品目の食糧 30 日分を配布しました。



サウスホールにおける小学校の給食配布の様子



1 団体名	特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン
2 活動地域	エチオピア オロミア州バレ県ベルベレ郡
3 支援対象者	干ばつ被災者
4 実施した活動内容	<p>2 月 14 日に JICA 地球ひろばにてエチオピア活動報告会を開催。15 名が参加し、オロミア州での食糧配布事業の様子を紹介した。現時点ではグッドネーバーズ・ジャパンとしての第二期事業に係る調査を実施中。</p>





エチオピア活動報告会の様子①



エチオピア活動報告会の様子②

1 団体名	特定非営利活動法人 メドウサン・デュ・モンド・ジャポン (世界の医療団)
2 活動地域	東アフリカ飢餓 (ソマリア、ケニア、エチオピア)
3 支援対象者	ソマリアの飢餓に苦しむ女性、子ども
4 実施した活動内容	<p>ソマリアでは、プントランド地方のボサソで、女性と子どものための医療計画を開始した。世界の医療団は、現地当局とアソシエーション協力のもと、既に存在している5つの健康センター「母と子どもたち」の活動に注力している。</p> <p>我々アソシエーションは、必要不可欠な医薬品、ワクチン、器具の供給、医療関係者養成、現地の組織への専門家の派遣を保障している。よって、町の中心に設置されたキャンプに避難してきた、また生活している1万人近くの妊産婦、4万人の5歳以下の子どもがこれら活動により援助を受けられるはずである。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

1 団体名	特定非営利活動法人 難民を助ける会
2 活動地域	ケニア東部州のキツイ県とその周辺地域
3 支援対象者	干ばつの影響を受けたケニア東部州のキツイ県において水不足の中で生活するケニア人
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後起こりうる干ばつと水不足に備え、ケニア東部州のキツイ県ムトモ郡にて、安全な水を供給し、衛生環境を改善する活動を行っています。干ばつの際にも枯れない深井戸から、水の手に入りにくい地域に水を送るためのパイプラインと水販売所4カ所を建設します。 ● 5月は、パイプラインの建設を続けているほか、4つの水販売所も建設段階に入っています。また、販売所に来た人たちが使えるよう、それぞれにトイレも設置します。その基礎工事が完成しました。販売所やトイレの管理をするために設立された水管理委員会が、地域住民に対し、水衛生に関する研修会を2回開催しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>水販売所の建設の進行具合を確認する駐在員</p> <p>水販売所に併設するトイレも同時に建設中</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2 活動地域	ケニア リフトバレー州、ナロク県、Mulot 地区内コミュニティ Baraka Health Clinic、及び Masai Mara 地区
3 支援対象者	ケニアの Mulot 地区及び Masai Mara 地区内に暮らす妊産婦と女性、子ども、乳幼児、成人男性
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども及び Masai Mara 地区の Oleleshwa 村での女児対象の学校建設が終了したので、学校の開校式及び新入生への栄養強化プログラムの実施スタート ● リフトバレー州ナロク県にあるバラカ・クリニックセンターにて、女性（特に妊産婦）や乳幼児を対象にした栄養補給（ビタミン、ミネラル補給）、や健康チェックの実施など <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">Oleleshwa 村での開校式の様子</p>

1 団体名	公益財団法人 プラン・ジャパン
2 活動地域	エチオピア（アディス・アベバ/アムハラ州/オロミア州/南部諸民族州）、ケニア（東部州/海岸州）、南スーダン（中央エクアトリア州/東エクアトリア州/ジョングレイ州/北バハル・アル・ガザール州）
3 支援対象者	同活動地域で極度の食糧不足、栄養不良状態にある人々、特に女性（含む妊産婦、授乳婦）と子ども
4 実施した活動内容	<p>引き続き、食糧・栄養補助食支給、安全な飲料水の支給、子どもの保護に関するトレーニングや啓発活動、地域住民の栄養状態調査・健康促進に関する啓発活動を行っています。子どもの保護については、弁護士補助員らと子どもの虐待、子どもの司法制度へのアクセスなどの現状と対策について話し合いました。また、南スーダンでは、子どもの寄生虫駆除も開始しました。これまでに 3 カ国の 95 万人以上（うち子ども 50 万人以上）に支援が届いています。</p> <p>詳細・最新情報：http://www.plan-japan.org/topics/world/110726afri/</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>支給された安全な飲料水で調理した食事を摂る子ども（ケニア）</p> <p>プランが支給した乳牛から摂れた新鮮なミルクを飲む子ども（エチオピア）</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
2 活動地域	ソマリア、ケニア、エチオピアなど
3 支援対象者	ケニア、ソマリア、エチオピアなどの、避難民キャンプなどで暮らす食糧不足に苦しむ人々、栄養不良の子どもたち、妊娠している女性など特に立場の弱い人々
4 実施した活動内容 (活動は、ワールド・ビジョンの各国事務所と連携して実施しています。支援対象人数は、ワールド・ビジョン・ジャパンだけではなく、各国事務所が連携した活動による数字です)	<ul style="list-style-type: none"> ● ケニアでは、406,351 人に対し 3,283 トンの食糧を、また 7 つの地域の 700 人の人々に 70,000 リットルの水の支援を行った。避難民キャンプでは、10 基のトイレを設置、100 人が利用できるようになった。 ● エチオピアでは、43,282 人が 771 トン食糧の支援を受け取った。栄養不良改善の支援として、4,364 人に栄養補助食の支給や栄養改善の指導を行い、352 人の妊婦や授乳中の女性を含む 2,303 人に対し栄養状態の健康診断を行い改善につなげることができた。 ● ソマリアでは、741 人の女性と子どもたちに予防接種や健康診断を行うことができた。また、24,267 人に対し 364,000 リットルの安全な水を支援した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="453 725 884 1010" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="453 1010 884 1104" data-label="Caption"> <p>栄養不良の子どもたちや母親を支援するための栄養価の高い食糧を受け取る人々（エチオピア）</p> </div> <div data-bbox="995 725 1417 1032" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="927 1043 1485 1137" data-label="Caption"> <p>支援で設置された水タンクを喜ぶ子ども。これまで子どもたちは、水を手に入れるために学校を休まざるを得ないことも多かった（ケニア）</p> </div> </div>



地球 × 未来、あなたと今できること。

NGOを支援するNGO
国際協力NGOセンター(JANIC)

Japan NGO Center for International Cooperation

Tel: 03-5292-2911 Fax: 03-5292-2912 HP: www.janic.org

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 アバコビル 5F